

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



さいたま市教育委員会では、SDGs教育を推進しています。



さいたま市立

指扇小学校



学校教育目標

やり抜く子の育成 かしくく やさしく たくましく あたたく

【知】かしくく…よく考える子

【徳】やさしく…思いやりのある子

【体】たくましく…心身ともにたくましい子

【コミュニケーション】あたたく…人とのかわりを大切にする子



■所在地：さいたま市西区西大宮 1-49-6

■電話：048-623-0133

■FAX：048-622-2200

■交通：JR 川越線西大宮駅徒歩 7~8 分

01 児童の安心・安全な学校生活のために



本校では、安心・安全な学校生活の基本として、「あいさつ」に力を入れ、様々な取組を行っています。生徒指導部を中心に

「本物のあいさつ（自分から進んであいさつ）」を様々な場面で呼びかけ

たり、児童会が「あいさつキャンペーン」を実施したりと、皆が気持ちよく安心して生活できるよう努めています。さらに、中学校との合同あいさつ運動や、地域の方々にも積極的にあいさつできるように、定期的な取組等も行っています。



02 児童と地域の方々とのつながりを深めるために



本校では、地域の方々を中心とした多くの防犯ボランティアの皆様に登下校を見守っていただいております。児童の登下校の安全が守られています。また、学習においても、図書ボラ

ンティアによる読み聞かせや、2年生生活科「町たんけん」、5・6年生家庭科におけるミシンの学習など地域のボランティアの皆様には支援をいただいております。

また、11月にはこうしたの方々にお手紙を書いて、感謝の気持ちを伝える取組などを行っています。このような様々な機会を通じて、地域の方々とのつながりを深めています。

03 互いに協力し合える集団づくりのために



本校では、学年や学級の所属を離れ、異学年で集団を構成し「縦割り活動」を行っています。児童が心身の発達の違いを認識し、それぞれの立場を理解し協力して活動しようとする態度を育てることをね

らいとしています。また、互いに協力して活動することで、所属感、一体感を深めるとともに、協働・責任・思いやりなどの集団生活における望ましい態度を身に付けています。「縦割り遊び」の時間では、教室で行える簡単なゲームを高学年の児童が企画し、グループごとに交流しています。また、「指小まつり」では、グループごとに内容を企画したり、他のグループに遊びに行ったりしながら交流を全校に広げています。



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



さいたま市教育委員会はSDGs教育を推進しています。



さいたま市立
馬宮東小学校



学校教育目標

「やさしく かしく たくましく」

① 困る心の
やさしい子

② みずから学ぶ
かしこい子

③ やる気ではげむ
たくましい子

④ ミニケーションが
じょうずにとれる子

知・徳・体・コミュニケーションのバランスのとれた子どもをはぐむ

合言葉「あいさつと元気がある馬宮東小学校」

令和8年度 創立153周年



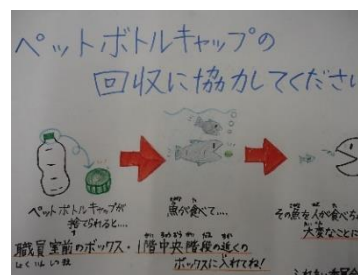
■所在地：さいたま市西区大字西遊馬 189-1 ■電話：048-624-4452 ■FAX：048-624-2247
■交通：大宮駅からバスで馬宮コミュニティセンター前下車徒歩4分

01 寄付活動・委員会によるキャップ回収



寄付活動を通してリサイクル、リユースについて学ぶとともに、グローバルな視野を広げさせることを目標に、学用品を年1回、回収して、

さいたま市内のボランティア団体を通して諸外国へ寄付する活動を行っています。児童のふれあい委員会では、地球環境を守り、リサイクルする意義を伝えるためにポスターなどを作成しペットボトルキャップの回収を呼びかけています。



02 生物の多様性や生態系の保護について考える学習活動



3年生の総合的な学習の時間「発見！馬宮のすてき〜ふるさと馬宮の自然〜」をテーマに馬宮環境保全会、埼玉南部漁業協同組合、錦乃原櫻草保存会等の協力のもと、学校のまわりにある生き物や植物について調査したり植えたりする体験をしています。



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



さいたま市教育委員会では SDGs 教育を推進しています。



さいたま市立

馬宮西小学校

本校はさいたま市西区の荒川右岸地域に位置し、地域とともに歴史を重ね、令和8年度は、創立151周年を迎えました。

＜学校教育目標＞ ㊟なぶ子 ㊟とめあう子 ㊟りぬく子

＜合言葉＞ ㊟こにこ…なかよく ㊟っかり…学ぶ

小規模校の良さを生かしたアットホームな雰囲気の中、「愛」があふれる教育の推進を目指した学校運営を行っています。



■ 所在地：さいたま市西区飯田新田189番地2 ■ 電話：048-624-4041
■ FAX：048-624-2273 ■ 交通：JR 大宮駅西口より西武バス乗車30分

01 地域や人との関りを大切にした活動の充実



本校では全校児童を5つの班に分け、一年を通して縦割り活動を行っています。通年で縦割り班での遊びや学習、学校飼育動物の世話を行っており、秋の「馬西っ子まつり」でも縦割り班で

お店を開いています。地域の秋祭りで児童が有志で参加し歌を歌うなど学年の枠を超えて活動しています。また運動会では、「盆踊り」をプログラムに入れ、参会者全員で盛り上げています。縦割り活動を通して、互いを気にかけて、思いやる気持ちや態度が育った児童が、やがて地域を大切にする人になることへとつながることを願っています。



02 食への関心を高める活動の展開



本校では低学年の生活科や特別支援学級自立活動の授業の中で、また、本校のチャレンジスクールにおいても年間

を通して野菜の栽培活動を行っています。学校給食の中でも地産地消を大切に、学区内の野菜農家さんや米農家さんが、丹精込めて育ててくださった食材を提供していただいています。栽培活動、そら豆やグリンピースのさやや、トウモロコシの皮をむく活動を通して、食生活が食にかかわる人々の様々な活動に支えられていることや、自然の恩恵の上に成り立っているものであることへの理解を深めています。



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



さいたま市教育委員会では SDGs 教育を推進しています。



さいたま市立

植水小学校



<元気いっぱい さわやか笑顔ひとみかがやく植水っ子>

- 1 学びを創造し、一人ひとりが輝く学校
- 2 安全・安心で、心地よい教育環境の学校
- 3 家庭・地域と連携・協働し、ともに歩む学校



■所在地：さいたま市西区中野林225-1

■電話：048-624-4235

■FAX：048-624-2280

■交通：大宮駅から水判土（みずはた）バス停下車徒歩8分

01 「自助・共助」を育む安全教育の推進



本校は鴨川や荒川の流域に位置し、豊かな水資源を活かした水田が広がる自然豊かな地域にあります。その一方で、古くから水害が発生しやすい地域でもあり、学区内には家屋倒壊等の氾濫が想定される区域が多く指定されています。

このような地域の特性を踏まえ、本校では「自分の命・身は自分で守る」という「自助」の意識を育てることを目標に、安全教育を推進しています。児童は定期的な避難訓練を通して、自らの安全を確保する行動を体験的に学び、いざという時にどう行動すべきかを考えられるようになります。また、安全朝会では、災害への備えや、災害時のリスク、具体的な避難行動などについての話を聞き、自分の命を守る行動について考えを深めています。こうした学びを振り返ることで、日常生活にも安全意識を広げていくことをねらいとしています。

02 よりよい人間関係の醸成



児童が他者と協力して活動することの楽しさや大切さを実感できるように、「植水小まつり」を実施しています。異学年でグループを組み、準備から本番までの活動を通して、お互いに声をかけ合い、力を合わせる経験を積む中で、人とつながる喜びや思いやりの気持ちをはぐくんでいます。

また、「心を潤す4つの言葉」を大切にしているキャンペーンを行い、言葉を通して温かな人間関係づくりに取り組んでいます。こうした活動を通して、児童は人との関わり方について考え、自分の言動を見つめ直す機会をもち、よりよい学級・学校づくりに主体的に関わる姿が見られるようになっています。

03 家庭・地域との連携



地域の農家の皆様や JA さいたまのご協力、さらに保護者の皆様の支援を得て、児童は田植えや稲刈りの体験を行っています。この活動を通して、自然の恵みや農業の大切さに気づき、食や環境への関心を深めています。

また、収穫したお米の一部は、JA を通じてアフリカのマリ共和国に支援米として届けられました。このような国際貢献活動にふれる中で、児童は「自分たちの行動が誰かの役に立つ」ことに気づき、広い視野で物事を考えるきっかけになっています。活動後には振り返りを行い、自分の学びや感じたことを言葉にすることで、地域や世界とつながる喜びや責任感をはぐくんでいます。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



さいたま市教育委員会では SDGs 教育を推進しています。

> **さいたま市立** **大宮西小学校** > > > > > > >

本校は、豊かな自然に恵まれた、開校57年目の学校です。
「明るく元気な子」「なかよくする子」「かんがえる子」「つたえ
あう子」を学校教育目標とし、自分と共に他の人を大切にする子
どもの育成—自他共愛—に取り組んでいます。



■所在地：さいたま市西区三橋5-1359

■電話：048-624-0035

■FAX：048-624-2316

■交通：大宮駅西口 西武バス佐知川行き 佐知川住宅前下車 徒歩約1分

自然に触れ、自然に学ぶために



本校は、豊かな自然を生かして校地内に「潤い自然園」を設置しています。

創立50周年を迎えた令和元年度には、学校、PTA、行政が連携を図りながら、大規模な整備を行いました。

「潤い自然園」での体験活動を通して、自然に触れ、自然で学ぶことによって、今まで以上に児童が自ら主体的・能動的・協働的に学習に取り組むようになれば、児童の環境保全に対する意識が高まるとともに、本校の目指す児童像にもある「自他共愛」の精神も高まると考えています。

また、6学年においては、「潤い自然園プロジェクト」と題して、潤い自然園をよりよい環境に整えていく活動を行っています。植物を植えたり、コンポストを設置したりしています。

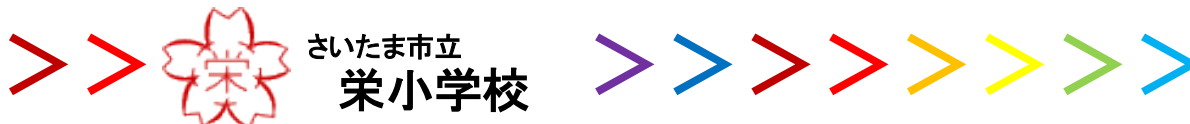


「潤い自然園」の維持管理には、ウエストパワーズ（おやじの会）をはじめ、保護者、地域の皆様に多大なお力添えをいただいております。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



さいたま市教育委員会では SDGs 教育を推進しています。



<学校教育目標>

○自ら学び考える子 ○健康でたくましい子 ○思いやりのある子

<目指す学校像>

「あした・希望・未来」へ羽ばたく学校 ～「愛」があふれる教育の推進～

<目指す児童像>

- 元気いっぱい（自ら学び考える子、健康でたくましい子）
- あいさついっぱい（思いやりのある子）
- なかよしいっぱい（思いやりのある子、健康でたくましい子）



■所在地：さいたま市西区飯田 8 1 1 番地 ■電話：048-623-0775
 ■FAX：048-624-2336 ■交通：JR大宮駅から西武バスで東五味貝戸バス停下車徒歩 10 分

01 人と環境にやさしい給食



本校の給食では、毎日の残菜調査や児童・教職員の意見を取り入れながらの味付けや量の調整、新献立の開発を行っています。また、地元の馬宮米部会の方々

が育ててくださったお米を使用しています。その他にも、食に触れる体験（そらまめのさやむき・とうもろこしの皮むき）や給食委員会によるワゴンチェック、給食室のビデオ放送等を通じて、食べ物を大切に、食に関わる人に感謝の気持ちを持てるように働きかけています。



【ワゴンチェック】

02 雨水を利用した環境整備



(1) さくら草の栽培

本校では、平成9年度から、地域のさくら草ボランティアの方々の協力のもと、3、4年生を中心にさくら草の栽培体験学習を行っています。さくら草は水の管理が重要で、水道水を使いながらも、雨水も利用して栽培をしています。水道がない場所に雨水タンク・蛇口があり、とても便利に活用しています。

(2) 校庭への散水

本校では、雨水の貯水タンクが地下に設置されており、校庭の散水に利用しています。散水は自動散水できるようになっており、校庭の状況を見て、迅速に散水することができます。散水に十分な雨水を貯水できており効果的に活用することができています。



【散水操作盤】

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



さいたま市教育委員会では SDGs 教育を推進しています。

> **さいたま市立 宮前小学校**



本校は、さいたま市の北西、交通の要衝「宮前インターチェンジ」のすぐ近くに位置しています。学校の周りには自然が残り、横を流れる鴨川には四季を通じて水鳥が羽を休め、コイやカメ、時にはカワセミに出会うこともあります。学校の広い校庭には、毎日子どもたちの元気な声が響き、学校全体が活気に満ちています。このような恵まれた環境を生かし、児童に豊かな心と健やかな体をはぐくむとともに、保護者や地域の皆様、企業と連携して、地域に根ざした学校づくりに取り組んでいます。



■所在地：さいたま市西区宮前町 341 ■電話：048-623-8121 ■FAX：048-624-2357
■交通：JR 大宮駅西口より東武バス 「宮前小学校入口」下車徒歩 3 分

01 食育の充実 「自然のめぐみ たくさんの感謝をこめて いただきます」

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



本校は、安全・安心なおいしい給食の提供を通して、食育を推進しています。また、食育に関する情報の積極的な発信に努め、SDGs の目標 2「飢餓をゼロに」に寄与していきたいと考えています。

- ・食育掲示板での食に関する情報提供
- ・学校ホームページでの給食献立紹介
- ・季節行事を意識した給食献立の提供と食文化の継承
- ・放送委員会の児童による、給食の時間における情報発信
- ・G・S 授業において児童が考案した給食献立の実施
- ・地場産物や埼玉県の郷土料理を取り入れた給食献立



【食育掲示板の様子】



【G・Sでの考案した給食プレゼンの様子】

02 「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実

「学びのつながりを意識して、自分の考えを広げ深められる児童の育成」

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



本校は、「学びのつながりを意識して、自分の考えを広げ深められる児童の育成」～「個別最適な学び」と「協働的な学び」を通した授業改善～をテーマに学校課題研究に取り組んでいます。SDGs の目標 4「質の高い教育をみんなに」に寄与していきたいと考えています。

- ・児童の学習状況の把握
- ・学習状況に応じた適切な支援
- ・児童の実態に応じた適応問題の実施
- ・振り返りの実践
- ・児童自身が自らのような方向性で学習を進めていくか選択する場の設定
- ・意欲的に取り組める教材の工夫
- ・対話的活動の充実
- ・深い学びの実現



【個別最適な学び】

第 5 学年社会科授業の様子



【協働的な学び】

第 5 学年理科授業の様子

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



さいたま市教育委員会は持続可能な開発目標（SDGs）を支援しています。



さいたま市立

指扇北小学校



本校は、学校教育目標をあかるく（思いやりがあり、前向きにとらえる子）かしこく（進んで学習し、よく考えて正しく判断できる子）たくましく（元気に活動し、根気よくがんばる子）とし「確かな学力」と「体力」の向上が図れる学校を目指している。また、地域に根ざした信頼される学校を目指し、保護者・地域・教職員が連携し、日々の教育活動を進めている。



■所在地：さいたま市西区中釘1506-1 ■電話：048-622-4131
■FAX：048-622-2358 ■交通：JR川越線西大宮駅徒歩30分

01 SDGsへの関心を高める「SDGsクイズ」・「SDGsビンゴ」



令和7年度は、SDGs委員会の児童が話し合い、「SDGs17の目標を意識して、学年関係なく明るく笑顔で活動しよう」という目標を掲げてスタートした。まず、SDGsのことを知って

もらうためには、どのような取組が必要かを話し合ったところ、「全ての目標を一度に意識するのは難しい」「無理なく取り組める内容にしたい」「学校の中で全学年が取り組めるものにしたい」等の意見があがった。

そうした意見を基に、毎週月・水・金曜日の給食の時間に「SDGsクイズ」を放送した。どの学年でも答えられるような3択クイズにすることで、少しずつSDGsへの関心を高めてきた。

また、2月には「SDGsビンゴ」を開催した。全学年が取り組めそうな目標を9つ設定し、目標を達成できたら色を塗って、全てビンゴしたクラスを放送で紹介した。一つひとつの目標を意識して生活する様子が見られるようになった。



02 福祉に対する意識を高めるための年3回の募金活動



本校では、学期に1回の募金活動を通して、福祉に対する意識を高めている。1学期「緑の羽根募金」、2学期「赤い羽根募金」、3学期「ユニセフ募金」を行い、1週間の期間を設けて取り組んだ。募金について協力をお願いした文書を活用して募金袋を作るようにしたり、児童が作成したポスターを縮小して募金袋の表紙デザインになるように工夫したりした。また、募金額を校内放送で報告することで児童もやりがいを感じて取り組んでいた。

